

<h1>第320回月例会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	確認
	企画運営委員長 増田	企画運営委員

◎ 日時 2019年12月20日（金）10：00～16：30

◎ 場所 きゅりあん 6階 大会議室

◎ 出席者 51名（法人会員：23社38名 個人会員：10名 オブザーバー参加2名 ゲスト1名）

1. 報告事項

1) 自己紹介・トピックス紹介

○ ロボット展に参加された方が多く、様々な意見があった。

※安全を理解している会社と、そうでない会社が見受けられた。

○小林事務局長より

機械関係の RA が義務化されるとの情報があり、調べた結果第13次防で「製造時のリスクアセスメントを確実に実施するための方策を検討する」との記載があった

・現在厚生労働省内で検討（法制化も含め）が始まったようである。

○会員から・・・ 前回の月例会で休業災害が本年はゼロになる見通しと発言があったが残念ながら

その後2件の休業が発生したと報告があった。

○その他：配布資料1-1 国際規格対応 機械の安全設計のポイント

2) 定例報告

① 第319回月例会・第44回企画運営委員会報告

第319回月例会議事録参照

2020年7月の月例会を関西で開催予定

②関西委員会報告 釜谷氏

WEB会議を検討

活性化のためメンバーの目標設定

2020年3月13日 13時30分～ 関西委員会で工場見学予定

株式会社山田製作所 <https://www.yamada-ss.co.jp/>

大阪府大東市新田中町 2-41

東京からも10名程度であれば参加可能

3) IMS委員会からの報告

・委員会の設置目的説明

・現在までの活動内容の説明(1～4回会合実施)

・畑氏より ANSIB11-20 を参考にされた方が良いとの助言あり。

2. テーマ「仕組みを用いた安全」 13:00～14:45 企画運営委員 石原氏

～TC2 仕組みを用いた安全の解説(その1)

・初版は1997年10月 作成

- ・生産現場で使えるものとして作成。現実の製造現場ではセーフティ2.0のレベルに達していないのでそれをなんとかしたい。

※石原さん HP: <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~ishihara-kt/index.html> に掲載中。

現在、安全装置を導入するにはセンサー等の機器および制御等の見直しを伴うため、コストがかかる。“しくみ”を用いた安全を実施することにより、リーズナブルにリスクを低減できる。

質疑応答

・無効化および作業性向上に対する抵抗力は？

・第3者による危害は？

等、様々な意見交換が行われた。

・今回は資料のP-24まで説明。継続的に今後の月例会で説明を実施する。

配布資料2-1: “しくみ”を用いた安全確認型システム 参照

3. 向殿先生 特別講演会 15:00 ～ 16:15 明治大学 向殿 政男 名誉教授

・Sefety 2.0と協調安全の考え方の説明

・スマホ効果について説明

別次元のところへ一足飛びに行くことが可能であり、そのことで一気に立場が変わる可能性が有る。

安全も Sefety0 → Sefety2.0となる可能性が有る

Sefety0: 人による安全

Sefety1: 機械による安全

Sefety2: 協調による安全

・新しい安全設計思想の探求

・労働安全の現在の世界動向

・安全の将来の方向に関する私案

安全はみんなで作るもの ～安全学の視点～

安全な機械を作る : 製造メーカー

安全に使う : 使用者

安全を管理する : 行政

・安全は統一的、ホリスティックに、総合的に創る … 安全学の思想

技術(自然科学) 組織(社会科学) 人間(人文科学)

配布資料3-1: 新しい安全の技術と思想 Safety2.0と協調安全の目指すところ 参照

月例会説明資料

資料番号	資料名
1-1	国際規格対応 機械の安全設計のポイント
2-1	“しくみ”を用いた安全確認型システム
3-1	新しい安全の技術と思想 Safety2.0と協調安全の目指すところ